

護道を取り入れた 介護支援



介護支援の中で当事者が混乱されているようなときに、自身を含む周囲の介護者と当事者がお互いに傷つくことなく誘導する、護道を取り入れた介護支援方法を学び、体験してみませんか？

講師



一般社団法人 護道 / 国際護道連盟宗家 **廣木 道心**

Profile

国際護道連盟宗家、支援介助法創始者、介護福祉士。17歳で少林寺拳法、19歳で芦原空手を学ぶ。その後、居合剣術をはじめ様々な日本の武道を学び、海外の武術、格闘技も研究、他流試合を経験。2002年、日本国際武道連盟各種公開演武大会にて最優秀演武賞を受賞。自閉症で知的障がいのある息子の父親として育児を通じてパニック時の対応法を模索。その後、介護士として福祉の現場に入り、自他共に傷つけない武道「護道」と「支援介助法」を開発。医療福祉系専門学校での講師をはじめ、全国の福祉施設、特別支援学校、公立の小中学校にて高い評価を得ている。

日時・会場

市民講座

3月19日(日) 18時～20時(受付17時45分～)
メモリアルセンター柔道場

専門職講座

3月20日(月) 10時～12時(受付9時45分～)
メモリアルセンター ふれ愛ドーム

申込方法

定員/両日40名

参加希望講座のQRコードを読み取り、申込フォームに必要事項を入力し、送信してください。

市民講座は
こちらから



専門職講座は
こちらから



備考:当日は動きやすい服装でお越しください。また、駐車料金は参加者様にご負担いただけます。会場は混雑が予想されるため、付近の駐車場もご利用ください。

※19日の参加も可能

お問い合わせ

認知症疾患医療センター岐阜病院 TEL/058-247-2118
MAIL/chiiki_training@shadan-gifu.or.jp (平日9時～17時)